

男女平等参画トツプ宣言

日本労働組合総連合会長野県連合会
会長 中山千弘



わが国が男女平等参画推進を進める理由は、少子高齢化に伴う就労人口の減少や改善されない女性のM字カーブ、更には格差の縮まらない男女賃金格差などがあると考えます。しかし、課題は依然として前進していません。私は今後、長野県そして日本が発展していくためには、女性が喜んで働ける職場や楽しく家庭仕事ができる環境を積極的に提供していく必要があると考えます。つまり、女性の活躍の場が実際に提供出来ない場合は、その組織が存続出来ない可能性が将来的に起こり得る大きな問題だと考えています。

連合長野は、第4次男女平等参画推進ではワークライフ制も含めて、とにかく積極的に女性を登用する。まずやって頂く事を前提に考えています。もちろん男性が大きな許容心を持って見守る事が大前提だと思います。「女性の皆さん安心して積極的にどんどん参加しようではありませんか。」女性の皆さんの発想こそが連合長野・長野県をそして日本を発展させる原動力だと考えます。よろしくお願ひします！！

男女平等参画推進委員会
委員長 中村雅代



男女平等参画社会の実現、男女がともに安心して働き続けられ、家庭や私生活を大切にしたい人間らしい文化的な生活を送るために、連合長野男女平等参画推進委員会は、中心的役割を果たす必要があります。

今、組合員にとって労働組合は頼れる存在にあるでしょうか。女性が働くことは当たり前の社会になり法整備も進みましたが、その法律が現場で使えるものになっていません。固定的性別役割分担意識が根深く、男女間賃金格差、非正規雇用、マタニティハラスメント等、課題が山積する中運動はなかなか前進しておりません。

男女平等参画推進委員会における議論や現場の実態把握から見えてきた差別を見逃さず、声や思いを職場や社会に押し上げていく運動をともにつくっていきましょう。

物流を担うトラック運輸産業は長い規制緩和で過当競争のなか、危険、長時間労働、低賃金など厳しい職場実態にあります。女性の割合は低く、男性中心の業界ですが、人員不足、高齢化の中で、女性・若者に魅力ある産業を目指します。



運輸労連長野県連合会
執行委員長 鈴木 武志

「私たちは、男女平等意識の啓発と定着を図り、女性の参加しやすい環境作りを進め、誰もがいきいきと活躍できる男女平等参画社会の実現をめざします。」



フード連合長野地区協議会
議長 羽賀 弘幸

就労状況の変化に伴い、少子高齢化が急速に進みゆくこの時代、男性・女性の枠にとらわれては長期的産業活動の発展を望むことはできません。お互いを尊重しあい、労働運動・組合活動の発展に寄与できる労働条件の整備に向けた取り組みを推進していきます。



全電線長野地方協議会
議長 前田 礎大

男女平等参画社会実現のため、男女とも人間らしく働きやすい環境整備が必要です。少子高齢化、労働者保護ルールの育兒・介護の両立支援等、課題解決に向け取り組みます。



中部地方森林労連長野連絡協議会
議長 後藤 弘二

各職場における男女平等参画の取り組みは、女性組合員が所属する職場においては先進的なものになっていますが、男性ばかりの職場では普遍的に等しいものがあります。例を挙げると、東海ユニオン飯田支部では、男性組合員による育児休暇取得の実体験を、フレッド・ドットコムという活動を通じ、女性組合員に語りかけることが行われています。数少ない女性組合員とのコミュニケーションを通じて男女平等参画を進めています。



JR連合長野県協議会
議長 丹内 春美

男女平等参画の実現に向けては、誰もが働きやすい・働き続けられる社会の実現が必要であると考えています。労務労連としてはまずは女性組合員の役員登用をおこない、課題を洗い出し、特に女性が参加しやすい環境を作っていくべきだと思います。



労務労連全労務労組長野支部
支部執行委員長 宇治川 誠

JR総連は、個人の尊重と法の下の平等・男女平等がうたわれている日本国憲法を守り、また仕事と育兒・介護を両立するために、ワークライフバランスの観点から組合員が利用しやすい制度・職場環境を確立する運動を推進していきます。



JR総連長野県協議会
議長 小林 和彦

基幹労連長野県本部は、性別・年齢にとらわれることなく、お互いの個性や能力を存分に発揮し、男女が共に生き生きと生活できる社会環境をつくるため、運動を展開します。



基幹労連長野県本部
執行委員長 丸山 育男

現代社会が飛躍するために男性も女性も互いに尊重し理解し合える社会をつくる必要があります。豊かな社会と活力あふれる社会づくりを目指すために私たちは男女平等参画を推進していきます。



全水道長野県支部
執行委員長 深井 政慶

少子・高齢化が進むなか、男女の明確な役割分担はなくなつつあります。社会的性差を越え、男女が共に輝ける社会になるよう活動していきます。



全国一般長野地方労働組合
書記長 戸沢 守

多様な人材に合わせた『働き方』について、現状でも課題が多い状況となっています。男女問わず、働きやすい環境をめざします。



ゴム連合
長野県協議会議長 稲場 伸也

建設業の人手不足が深刻化する中で、女性技術者・技能者の割合は非常に少ない水準となっています。男女平等参画社会の実現に向けて、女性が安心して建設業に入職することができ、そして働きやすい環境づくりに努めていきます。



長野県建設労働組合連合会
執行委員長 林 衛

私鉄・バス・ハイタク職場には、大勢の女性が活躍しています。職場環境・労働条件など、長く働き続けられる条件整備に取り組み、さらに活躍できる魅力ある職場にします。



長野県私鉄労働組合連合会
執行委員長 宮下 洋

男女共同参画社会のあり方について学習を深め、定年まで働き続けることができる労働環境の実現に向け、ジェンダーの視点で教育課程や行事等を見直し、諸権利の取得促進、協力・協働の職場作りに取り組みます。



県教組上伊那支部
執行委員長 桂本 真司

印刷労連は、全ての差別を認めず、男女平等参画に積極的に取り組みます。わたしたちの様々な中小企業中心の産別は、無意識のうちに女性参画に消極的になりがちです。まずはその体質を変えることが大切と考えます。



印刷労連長野地方協議会
議長 栗林 正直

当労組では、これまでの取組みを総括したうえで、上部団体である全労金の「男女平等参画推進方針」に基づき、単組版「第1次男女平等参画推進計画」を確立し、誰もが平等に活躍できる職場環境を整備します。



長野県労働金庫労働組合
執行委員長 松井 謙宏

組合員の意見集約や実態把握を行います。また、啓発活動を行い男女平等参画推進の取り組みに関する理解促進や女性同士が対話できる機会を増やし、女性が組合活動に積極的に参画しやすい環境の整備を推進していきます。



紙バ連合長野県ブロック会議
議長 狩野 和幸

男女労働者のワーク・ライフ・バランスや地域社会への参加がはかれる働き方を保障するために、男性の働き方を見直すことが必要です。自治体は男女平等参画を通常で取り組み、男女がともに担う労働運動をめざします。



自治労長野県本部
中央執行委員長 高橋 精一

少子高齢化社会に車庫がなくなり、生産年齢人口が減少していくことが確実な実態にある中で、男女平等参画社会の実現は大変重要な課題です。電機連合は、職場や地域で男女が共に責任を担い、グローバル化の中で生き生きと活躍できる社会をめざし、啓発活動を進めていきます。



電機連合長野地方協議会
議長 小池 政和

JAM甲信は男女共同参画推進の一環として、各地区にて「女性組合員の集い」を開催し、女性の意見を活動に反映する取り組みをしています。今後は女性役員の登用と積極的に参画できる環境づくりを進めていきます。



JAM甲信
執行委員長 林 光彦

男女共同参画の取り組みは女性だけの取り組みではありません。性別・働き方を問わずすべての組合員の積極的な参画が必要不可欠です。そしてそのかきとなるのは組織トツプのリーダーシップにはかかせません。私自身もUAセンセンにおける男女共同参画の実現、さらには男女共同参画社会を実現するべく、強い決意を持って臨みます。



UAセンセン長野県支部
支部長 師 玉 憲治郎

男女が平等に、働きたいの向上とゆとりある生活の両立をめざして、ワーク・ライフ・バランスの推進から共同参画社会実現に取り組めます。また、女性役員の育成に積極的に取り組んでいきます。



自動車連合長野地方協議会
議長 鈴木 伸一

J P 労組は、男女共同参画の実現に向けて「J P 労組男女共同参画推進計画(アクション21)」を策定し進めています。また協約に基いた女性特有の休暇制度を協議してもらった。J P 労組女性フォーラムで独自に作成した協約便利手帳」を活用し、男女共同参画社会の実現、環境整備に取り組んでいきます。



J P 労組長野連絡協議会
議長 山本 龍三

電力総連は「私たちの道路」において「労働運動をはじめ、あらゆる分野に女性の積極的な参画を進め、男女平等の社会の実現を目指す」ことを掲げている。その実現に向け一杯努力したい。



長野県電力総連
会長 寺澤 博幸

働きやすく暮らしやすい社会の実現に向けて、連合が掲げる男女平等推進計画に沿って新年度の運動方針に盛り込んでまいります。また、全労組員の約1/3が女性が占めている現状を踏まえ、県産別並びに構成する各単組の女性役員の拡大を進めてまいります。



長野県農薬団体労働組合連合
執行委員長 内村 正男

男女平等、特に女性のキャリアアップを考えた時に重要と考えるのは、仮に産休・育休・短時間勤務などの制度が充実しているとしても、具体的にその制度を積極的に利用し男性の働き方を変えることにより職場意識、管理者意識を変えていくことが重要ではないでしょうか。



情報労連長野県協議会
議長 三村 光正



連合長野「第4次男女平等参画推進計画」

連合長野男女平等参画推進委員会では、連合第1次および、第2次男女平等参画推進計画にもとづいて男女平等参画推進活動を進めてきました。

その後、連合長野第3次男女平等参画推進計画（活動期間=2007年11月～2013年10月）にもとづき、連合長野執行委員会並びに各議決機関への女性の参画要請、男女平等月間では「女性リーダー育成セミナー」を開催し、ワーク・ライフ・バランス推進や女性の活躍促進に向けた講演会を実施するとともに、産別・単組の男女平等参画推進活動の事例報告および分散会での意見交換などを行ってきました。また、女性が働きやすい職場づくりや子育てサポートを実施し「くるみんマーク」を取得している企業の訪問や、産別・単組における進捗状況や課題などを把握するため産別訪問するなど各団体との意見交換を行ってきました。

今回、連合長野第3次男女平等参画推進計画の活動期間が2013年10月までとなっていること、および連合第4次男女平等参画推進計画が実施されていること等を踏まえ、連合長野第3次推進計画の推進状況についての点検活動を行ったうえで、連合長野第4次男女平等参画推進計画を策定しました。

連合長野第4次男女平等参画推進計画は、連合がめざす「男女平等参画社会」の理念と目標をあらためて共有し、各組織トップのリーダーシップと組合員の積極的な参画のもと、クオータ制などの実効性ある手法も取り入れながら、組織と労働運動を強靱でより活力あるものとしていくために、総力をあげて取り組みを進めていくこととします。

連合長野のめざす男女平等参画社会の理念

「働くことを軸とする安心社会」を実現するため、男女が対等・平等で人権が尊重された社会の構成員として、様々な分野への参画の機会が保障され、役割と責任を分かち合う、誰もが暮らしやすい社会をめざす。

連合長野が男女平等参画に取り組む意義

◆連合長野が社会的責任を果たすために

男女平等を実現し、男女とも働きやすく、暮らしやすい社会をつくる。

◆多様な人々が結集する、多様性と活力ある組織となるために

多様性と活力のある組織となって、働く者・生活者の権利を守り、その理念と政策を実現していくために、社会的影響力を高めていく。

◆地域社会の活性化のために

家庭や地域でも、男女がともに責任を分かち合う男女平等参画に取り組むことで、「地域で顔の見える労働運動」を展開していく。



運動の目標と主要課題

目標①

働きがいのある人間らしい仕事（ディーセント・ワーク）の実現と女性の活躍の推進

性別や年齢、雇用形態などを問わず、だれもが働きがいのある人間らしい仕事と公正な労働条件で社会に参画しつながらることを目標とし、女性の参画を阻む構造的問題を解消し、雇用における男女平等の実現をめざす。

目標②

仕事と生活の調和

男女が仕事と生活の役割と責任を平等に分かち合い、ともに仕事と生活の調和をはかれるよう、働き方の見直しと就労・就業継続のための環境整備を進め、地域活動、文化活動などにおける男女平等参画を推進する。

目標③

多様な仲間の結集と労働運動の活性化

すべての働く者のために個性と能力を発揮する活力に満ちた労働組合をつくるために、組織拡大の取り組みを強化し、だれもが参加しやすい活動や環境づくりを進めるとともに、女性や若者、非正規労働者も主体的な担い手となる社会的影響力のある組織をめざす。

数値目標

連合長野は、次の数値目標の達成を目指して取り組みを進める。

数値目標1

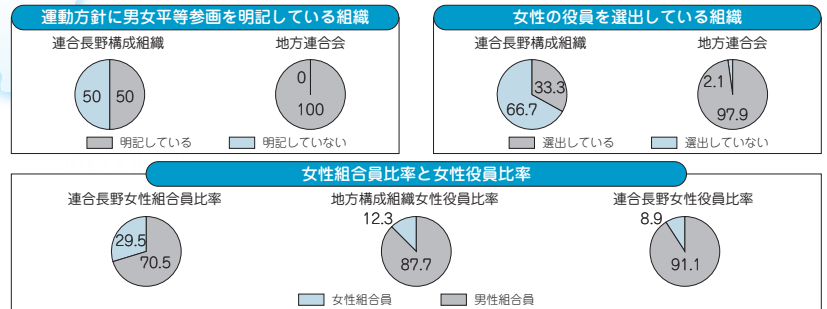
運動方針に、男女平等参画の推進と連合の3つの目標についての取り組みを明記している組織（構成組織・単組）を、遅くとも2016年までに100%とする。

数値目標2

女性役員を選出している組織を、遅くとも2018年までに100%とする。

数値目標3

連合の役員および機関会議の女性参画率を2020年までに30%とする。



計画期間

2014年11月から2020年10月の6年とする。

具体的な取り組み

1. 連合長野としての取り組み

- ①連合長野第4次男女平等参画推進計画の達成
- ②構成組織の男女平等参画実現に向けたサポート
- ③第4次男女平等参画推進計画の達成状況の把握と進捗管理の徹底

2. 構成組織としての取り組み

- ①男女平等参画推進方針の決定
- ②男女平等担当者との配置と男女平等参画推進委員会等の設置・強化



以上